

PTA人権教育講演会

11/13
(土)『ゲーム・動画・ネット社会のこわい話』
～便利で楽しい画面の中の落とし穴～

船穂小学校

就実大学人文科学部 講師 筒井 愛知 さん

今では利用が当たり前となっているスマホやインターネットの良い面・悪い面を、プレゼンテーションソフトや動画を使って分かりやすく話していただきました。具体的な事案を提示しながらのお話だったので、子ども達の心にも響いていました。使えば便利でとても役に立つものではあるが、良いことばかりではなく、時にはとても危険で怖いものになり得るということを自分のこととして理解できたようです。



PTA人権教育講演会

11/13
(土)

人権教育講演会「手話が繋げる明るい未来」

船穂中学校

マルチシンガー 強力 翔 さん



船穂中学校では「手話が繋げる明るい未来」と題してPTA人権教育講演会が行われました。講師の強力翔さんは歌と手話を組み合わせた「マルチシンガー」として活動されており、今まで生徒にとってあまり触れる機会がなかった手話を、歌声とともに披露してくださいました。「世界に一つだけの花」やオリジナルソングの「GIFT」など、生徒は楽しみながら手話を学ぶことができていました。強力さんのパフォーマンスで勇気づけられた生徒も多くみられました。生徒にとって手話が身近に感じられるようになるよいきっかけとなりました。また、講演会後に行われた人権集会では、学級委員がクラスの人権目標の発表を行い、人権についての意識を深めていました。



PTA人権教育講演会

11/10
(水)

『子どもの感情発達を支える親の心得』

船穂幼稚園

山陽学園短期大学 名誉教授 むらなか 村中 ゆきこ 由紀子 さん

11月10日(水)に山陽学園短期大学名誉教授の村中由紀子さんをお迎えして「子どもの感情発達を支える親の心得」と題して、年長の保護者を対象にPTA人権教育講演会を開催しました。



就学に向けて、学習面や友達関係など漠然とした不安があると思うが
①子どもがやりたいことを満足するまで存分にできるようにし、自己肯定感をもたせること ②子どもを無条件に受け入れ、子どもを認め、居場所をつくるのが大切であるといった内容でした。親の肯定的な気持ちにより子どもも変わってくるので、子どもが前向きな気持ちになれるような言葉掛けをすることや、子どもを守る立場の幼稚園と家庭がそれぞれの役割を考え、協力しながら真剣に向き合うことが重要であることに気付くよい機会となりました。

保護者の感想より

- ・子どもは親の期待や不安を感じ取っていて、子どもなりに頑張っていることに気付きました。子どもの成長を信じて、その手助けをしていこうと思います。
- ・子どもにとって“一番安心できる”、“いつでもどんなことも受け止めてもらえる”と思えるような家庭にしたいと思いました。



PTA人権教育講演会

6/26
(土)

『音楽で広げる人の輪』

柳井原小学校

桃太郎のからくり博物館 館長 すみたく 住宅 まさと 正人 さん

穴の開いているものを何でも笛にする音楽家 住宅正人さんの話と「ちくわ笛」の演奏に、全校児童、保護者、教職員が聴き入りました。

「ちくわ笛」奏者として全国で活躍されている住宅さんは「芸人」との関わりも多く、「芸人の言う悪口はテレビで演じているもの。見ている側もテレビと日常との区別をすることが大切である。」また「メロディを口ずさんでいると悪口は言えない。手で拍を打っていると人をたたくことはできない。」と、低学年にもわかるように「人を大切に話す話」をしてくださいました。

お話の合間にはもちろん、ちくわ笛の演奏がありました。童謡から「紅蓮華」まで、ちくわの他にもレンコン、バナナ、ゴーヤ、パプリカを使って演奏をしていただきました。

また、5、6年生にはちくわ笛の音の出し方を指導してくださり、親子で一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

